

路盤材材料試験結果報告書

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：クラッシャーラン（C-25）川砕

材料産地：五泉市 論瀬 地内

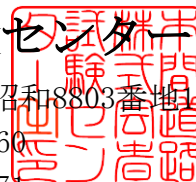
令和6年3月

本間道路株式会社 試験センター

〒959-1604 新潟県五泉市論瀬字昭和8803番地

TEL：0250-42-5560

FAX：0250-47-7071



試験概要

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：クラッシャーラン（C-25）川砕

材料産地：五泉市 論瀬 地内

試験期間：自 令和 6 年 3 月 4 日
至 令和 6 年 3 月 21 日

試験内容：試験内容は以下のとおりである。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1) 骨材のふるい分け試験 | …………… JIS A 1102 |
| 2) 粗骨材の密度および吸水率試験 | …………… JIS A 1110 |
| 3) ホンペルズ機による粗骨材のすり減り減量試験 | …………… JIS A 1121 |
| 4) 土の液性限界・塑性限界試験 | …………… JIS A 1205 |
| 5) 突固めによる土の締固め試験 | …………… JIS A 1210 |
| 6) 修正CBR試験 | …………… 舗装調査・試験法便覧 |

試験会社：本間道路株式会社 試験センター

整理担当者：金田 透 

路盤材材料試験結果一覧表

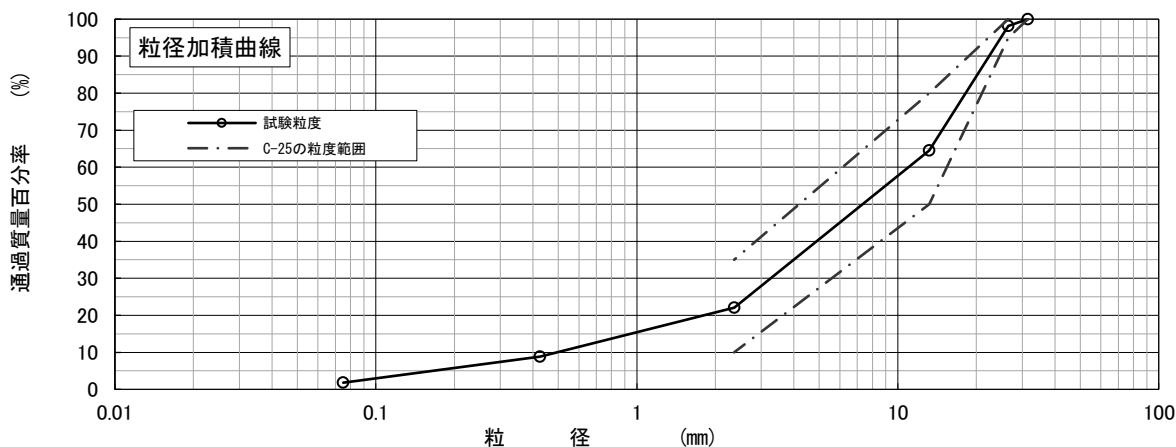
材 料 名 : クラッシャーラン (C-25) 川砕

試験年月日 : 2024年3月21日

用 途 : 下層路盤

整理担当者 : 金田 透

試 験 項 目		試 験 規 格	試 験 値	規 格 値	
一 般	含水比 (搬入時) (%)	JIS A 1203	—		
	密度・吸水率	表 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109 JIS A 1110	2.65	
		か さ 密 度 (g/cm ³)		2.62	
		見 掛 密 度 (g/cm ³)		2.71	
		吸 水 率		1.32	
	コンシステンシー	液 性 限 界 (%)	JIS A 1205	N.P	
		塑 性 限 界 (%)		N.P	
		塑 性 指 数		N.P	6以下
	すり減り減量 (%)	JIS A 1121	13.5		
	損 失 量 (%)	JIS A 1122	—		
異 物 混 入 率 (%)	※1	—			
粒 度 特 性	通過質量百分率 (%)	53 (mm)			
		37.5			
		31.5	100.0	100	
		26.5	98.2	95 ~ 100	
		19			
		13.2	64.5	50 ~ 80	
		4.75			
		2.36	22.1	10 ~ 35	
		0.425	8.8		
		0.075	1.8		
締 固 め 特 性	試 験 方 法		E-b法		
	最 大 乾 燥 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1210	2.025		
	最 適 含 水 比 (%)		5.1		
	修 正 C B R (%)	舗装調査・試験法便覧	70.5	20以上	



備考) ※1 コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	------------

調査名・目的 路盤材材料試験	試験年月日 2024年3月6日
試料番号 クラッシャーラン(C-25)川砕	使用場所 本間道路(株)試験センター
試料採取場所 五泉市 論瀬 地内	試験者 金田 透

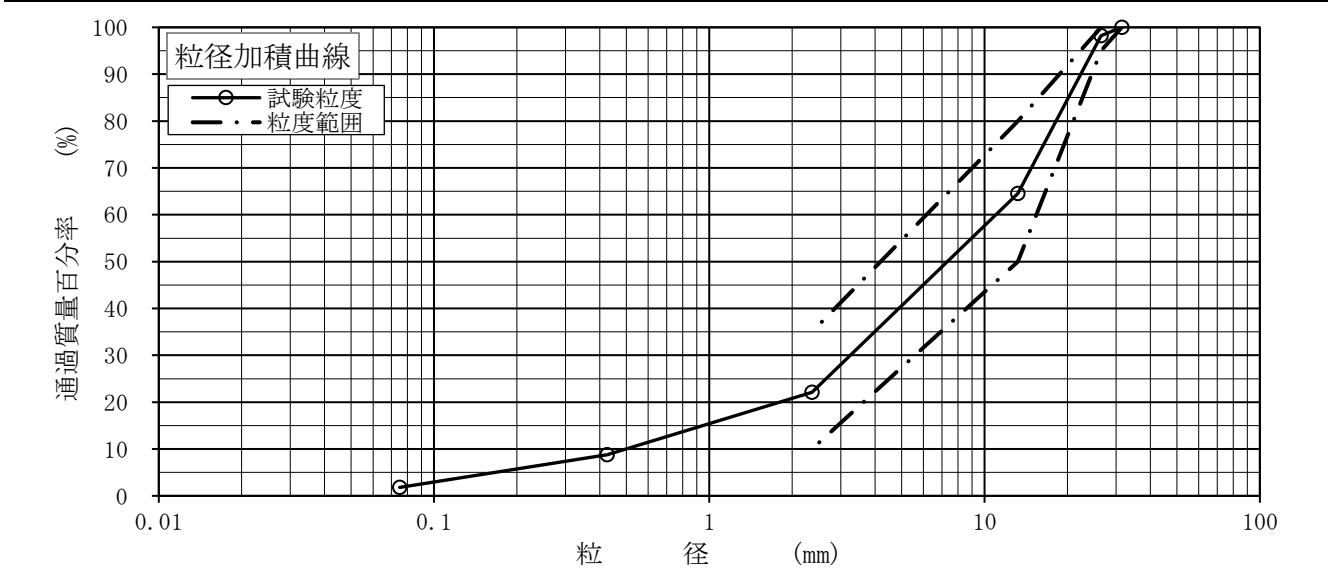
(全試料+容器)質量	12923.6	g	(2.36mm通過試料+容器)質量	576.1	g
容器質量	-	g	容器質量		g
全試料質量	12923.6	g	2.36mm通過試料質量	576.1	g
2.36mm残留試料質量	10063.1	g	全試料に対する2.36mm通過試料の割合	22.134	%

2.36mmふるい残留試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
75					
53					
37.5					
* 31.5			0.0	0.0	100.0
* 26.5			237.4	1.8	98.2
19					
* 13.2			4584.4	35.5	64.5
9.5					
4.75					
* 2.36			10063.1	77.9	22.1

2.36mmふるい通過試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	全試料に対する通過質量百分率 (%)
1.18						
0.6						
0.425			347.5	60.3	39.7	8.8
0.3						
0.15						
0.075			528.9	91.8	8.2	1.8



JIS A 1110	粗骨材の密度および吸水率試験
------------	-----------------------

試料番号	路盤材 (C-25) 材料試験	試験年月日	2024年3月7日
試料産地	五泉市 論瀬 地内	試験者	金田 透

試験時の水温 20 °C 骨材の最大寸法 13.2 mm

試験水温時の水の密度 $\rho_w = 0.9982$ g/cm³

測定番号	1	2	3	4
① 表乾試料+容器質量 (g)	3324.8	3465.9		
② 容器質量 (g)	856.3	884.3		
③ 表乾試料質量 (g)	①-②	2468.5	2581.6	
④ (かご+試料)水中質量 (g)	1538.6	1610.3		
⑤ かごの水中質量 (g)	0.0	0.0		
⑥ 試料の水中質量 (g)	④-⑤	1538.6	1610.3	
⑦ 表乾密度 (g/cm ³)	③・ ρ_w / (③-⑥)	2.65	2.65	
平均値	2.65			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)	2436.4	2548.3		
⑨ かさ密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (③-⑥)	2.62	2.62	
平均値	2.62			
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (⑧-⑥)	2.71	2.71	
平均値	2.71			
⑪ 吸水率 (%)	(③-⑧) / ⑧ × 100	1.32	1.31	
平均値	1.32			

備考

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験
------------	------------------------

調査名 : 路盤材材料試験	試験年月日 : 2024年3月7日
試料番号 : クラッシャーラン(C-25)川砕	試験場所 : 本間道路(株) 試験センター
試料採取場所 : 五泉市 論瀬 地内	試験者 : 金田 透
骨材の種類 : 砕石	鋼球の数 : 8 個
粒度区分 : 13.2mm~4.75mm	鋼球の質量 : 3328 g
試料質量 : 5000.0 g	回転数 : 500 回

ふるい目の開き (mm)	試験前の粒度			試験後の粒度						
	累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)	1			2			
				累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	
63										
53										
37.5										
31.5										
26.5										
19										
13.2	0.0	0.0	100.0							
9.5										
4.75	5000.0	100.0	0.0							
2.36										
1.7										

すり減り試験結果

測定番号	1	2
① 試験前の試料質量 (g)	5000.0	5000.0
② 試験後の試料質量 (g)		
③ 1.7mmふるい残留物の水洗い後の質量 (g)	4322.5	4334.7
④ すり減り損失質量 (g)	①-③	665.3
⑤ すり減り減量 (%)	④/①	13.3
⑥ 平均値	13.5	

調査件名 路盤材材料試験

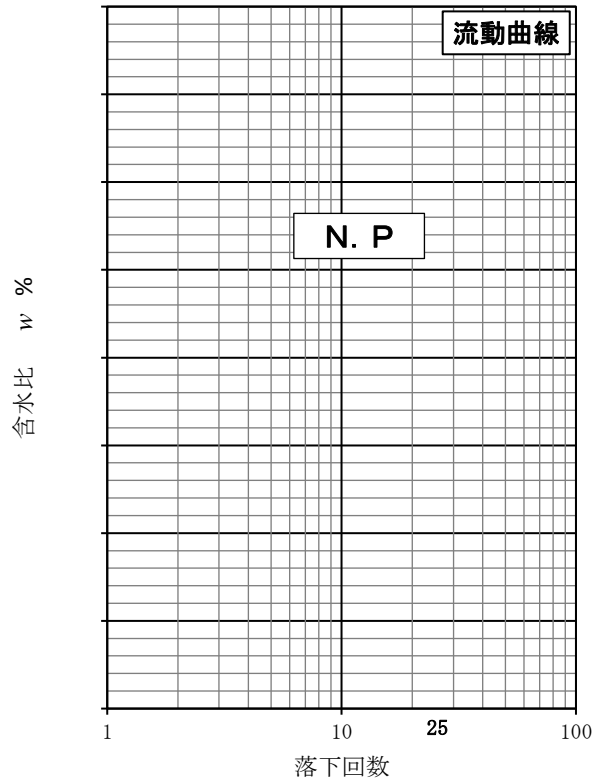
試験年月日

2024年3月6日

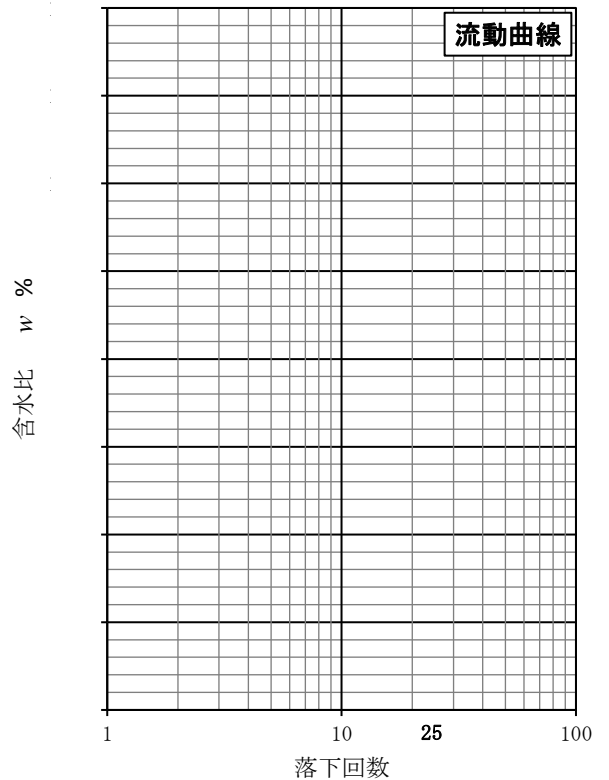
試験者

金田 透

試料番号(深さ)		クラッシャーラン(C-25)川砕	
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
溝切り不可,測定不能			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
ひも状にならず測定不能			
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	
N. P	N. P	N. P	



試料番号(深さ)			
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	



特記事項

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 8日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試験者 金田 透

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用方法		非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ ¹⁾ cm	12.5
含水比	試料分取後 ω ₀ %		突固め回数 回/層	92		容量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 ω ₁ %		突固め層数 層	3	質量 m _l ²⁾ g	3878	
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8327	8414	8506	8568		
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.014	2.053	2.095	2.123		
平均含水比 ω %		2.1	3.0	4.0	4.9		
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		1.973	1.993	2.014	2.024		
含水比	容器 No.	235	222	226	207		
	m _a g	5037.8	5090.7	5178.2	5237.4		
	m _b g	4947.7	4957.6	5000.5	5019.4		
	m _c g	596.2	566.3	569.3	569.0		
	ω %	2.1	3.0	4.0	4.9		
比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8598	8595				
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.137	2.135				
平均含水比 ω %		5.8	6.6				
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		2.020	2.003				
含水比	容器 No.	212	240				
	m _a g	5269.8	5276.5				
	m _b g	5013.5	4984.0				
	m _c g	576.0	583.7				
	ω %	5.8	6.6				
比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						

特記事項

- 1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + \omega / 100}$$

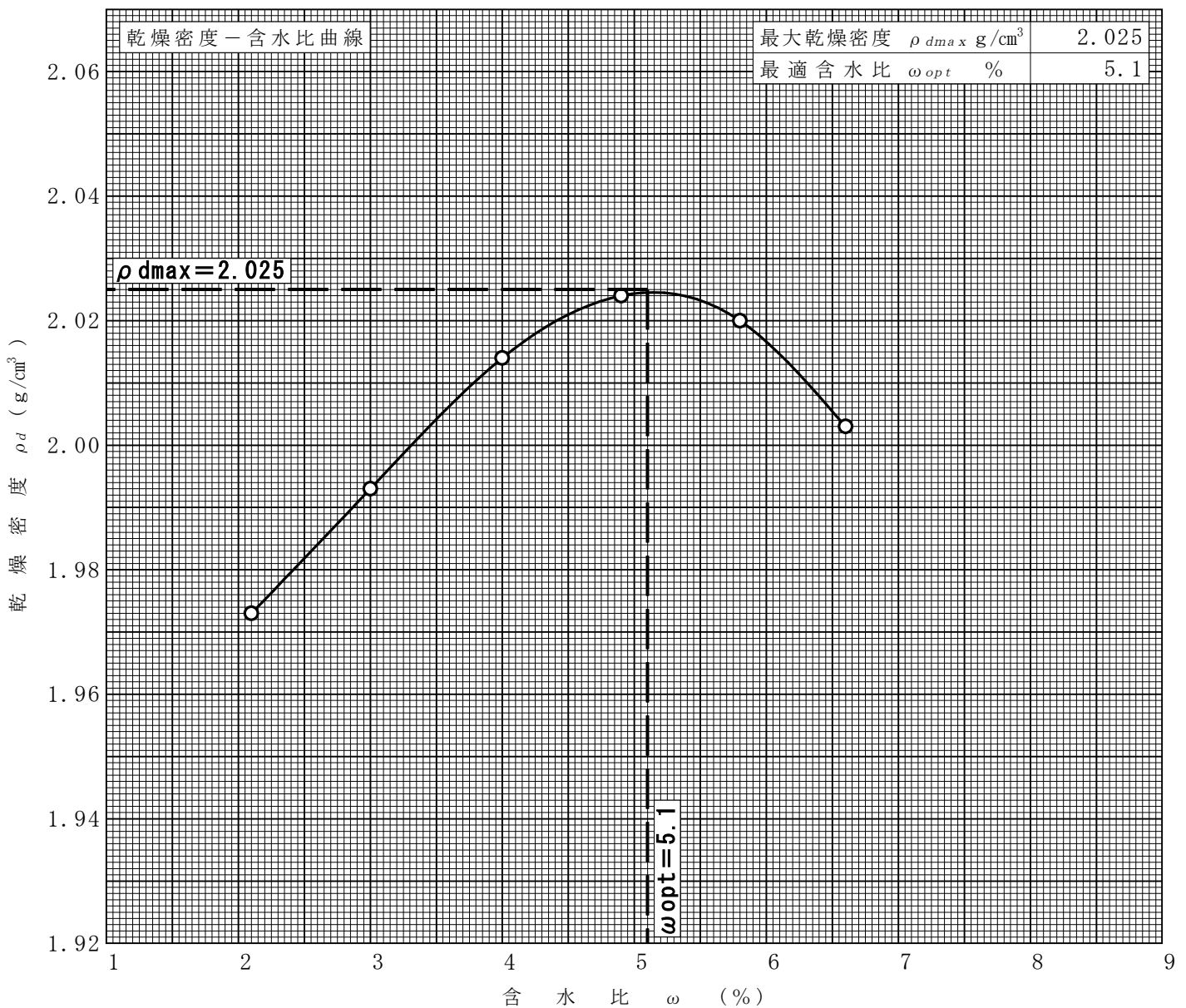
調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 8日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試験者 金田 透

試験方法	E-b		土質名称					
試料の準備方法	乾燥法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			
試料の使用方法	非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調整前の最大粒径 mm		31.5	
含水比	試料分取後 ω_0 %			突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 ω_1 %			突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.5
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 ω %	2.1	3.0	4.0	4.9	5.8	6.6		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.973	1.993	2.014	2.024	2.020	2.003		



特記事項

1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w / \rho_s + \omega / 100}$$

調査件名 路盤材材料試験 試験年月日 2024年 3月 11日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 ω_{opt} %	5.1	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.025	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	113	117					
	m_a g	1492.7	1499.3					
	m_b g	1432.5	1440.5					
	m_c g	291.9	290.3					
	ω_1 %	5.3	5.1					
平均値 ω_1 %		5.2		5.2		5.2		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{(2)}$ g	11568		11542		11660		
	モールド質量 $m_l^{(2)}$ g	6874		6846		6931		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.125		2.126		2.141		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.020		2.021		2.035		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		0	0.00	0	0.00	0	0.00
(試料+モールド)質量 $m_3^{(2)}$ g	11638		11640		11751			
膨張比 γ_e %	0.000		0.000		0.000			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.157		2.170		2.182			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	2.020		2.021		2.035			
平均含水比 ω' %	6.8		7.4		7.2			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 15日

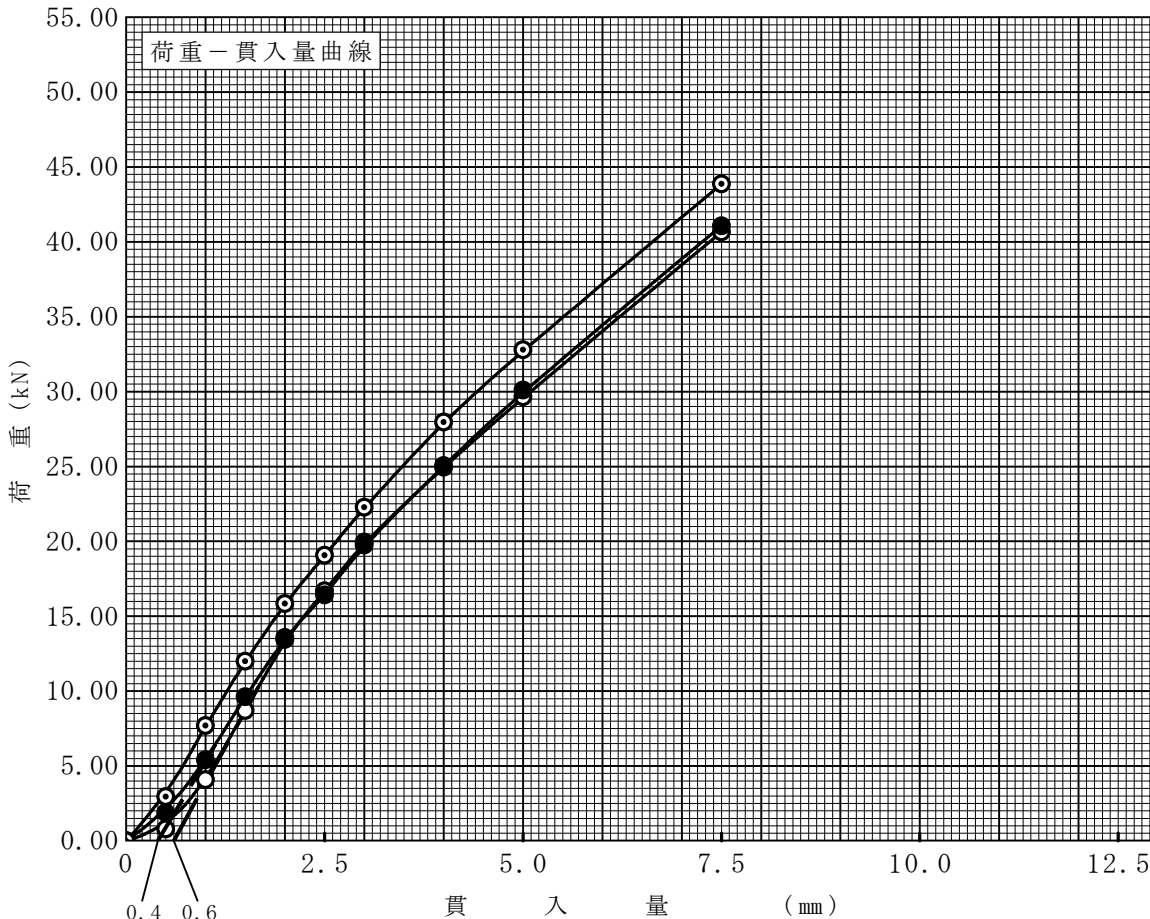
試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試 験 者 金 田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 ω_n	%
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm		

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	5.2	5.2	5.2
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.020	2.021	2.035
	後	膨張比 γ_e %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 ω' %	6.8	7.4	7.2
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	2.020	2.021	2.035
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		152.1	142.1	142.2
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		162.1	159.5	164.3
	C B R %		162.1	159.5	164.3

平均 C B R %
162.0



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

○ ○ 1
● ● 2
○ ○ 3

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 1 試体 No.	20.375	32.250
荷 2 試体 No.	19.040	31.747
荷 3 試体 No.	19.059	32.693
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 11日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試験者 金田 透

試験方法		締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称		
突固め方法		修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %		
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 ω_{opt} %	5.1	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.025	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	128	110					
	m_a g	1561.2	1576.3					
	m_b g	1497.2	1512.4					
	m_c g	286.8	285.6					
	ω_1 %	5.3	5.2					
平均値 ω_1 %		5.3		5.3		5.3		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11394		11295		11407		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6902		6783		6865		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.033		2.043		2.056		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.931		1.940		1.953		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		4	0.04	3	0.03	4	0.04
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g		11540		11447		11559		
膨張比 γ_e %		0.032		0.024		0.032		
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³		2.099		2.111		2.124		
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³		1.930		1.940		1.952		
平均含水比 ω' %		8.8		8.8		8.8		

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 15日

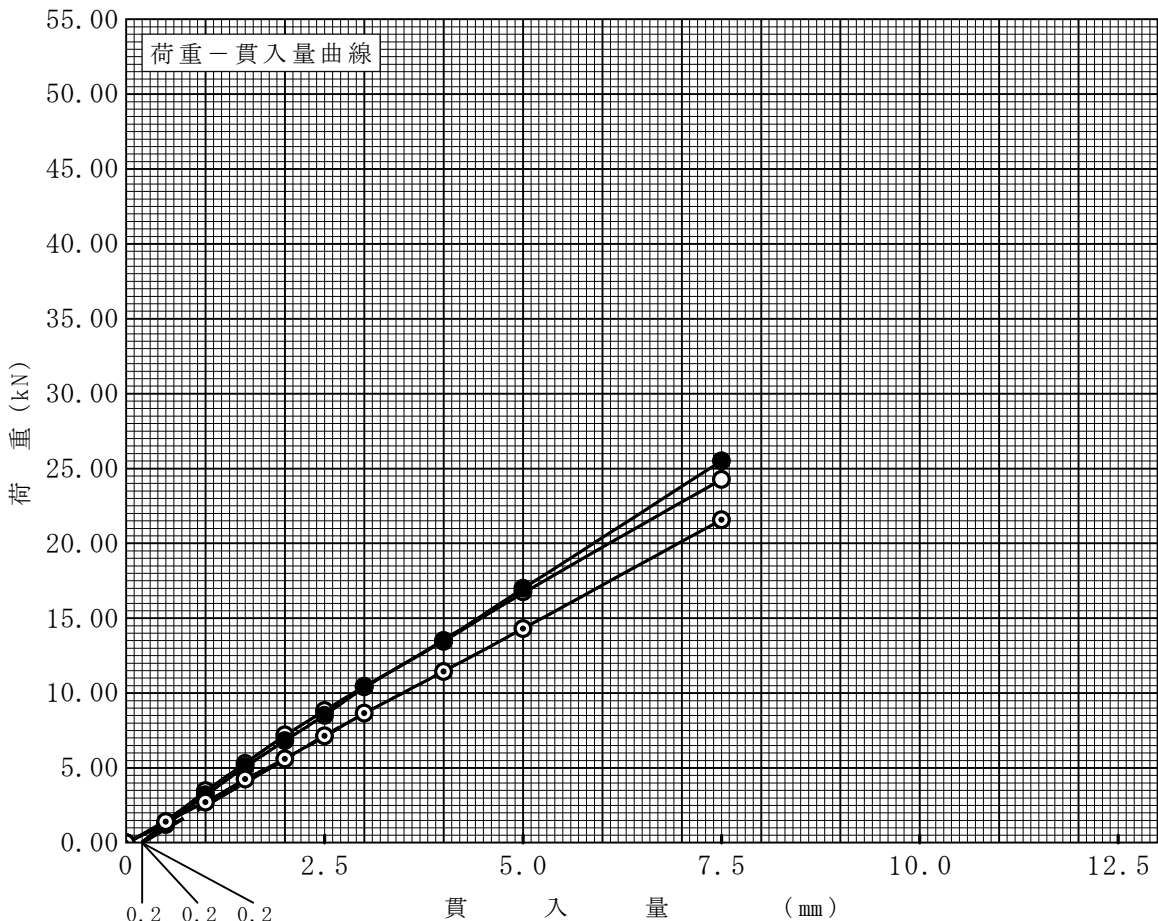
試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試 験 者 金 田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%		
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 ω_n	%		
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	5.1		
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³	2.025
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5			

供 試 体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1	5.3	5.3	5.3
		乾燥密度 ρ_d	1.931	1.940	1.953
	後	膨張比 γ_e	0.032	0.024	0.032
		平均含水比 ω'	8.8	8.8	8.8
		乾燥密度 ρ'_d	1.930	1.940	1.952
貫入試験	試験後の含水比 ω_2				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		70.7	69.2	57.8
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		86.9	88.7	74.8
	C B R %		86.9	88.7	74.8

平均 C B R %
83.5



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 1 試体 No.	9.479	17.294
荷 2 試体 No.	9.269	17.653
荷 3 試体 No.	7.740	14.890
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 11日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 ω_{opt} %	5.1	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.025	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	122	119					
	m_a g	1576.3	1463.8					
	m_b g	1513.6	1405.9					
	m_c g	275.9	291.9					
	ω_1 %	5.1	5.2					
平均値 ω_1 %		5.2		5.2		5.2		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{(2)}$ g	11264		11208		11161		
	モールド質量 $m_l^{(2)}$ g	6894		6798		6786		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	1.978		1.996		1.981		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.880		1.897		1.883		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		8	0.08	8	0.08	5	0.05
(試料+モールド)質量 $m_3^{(2)}$ g	11487		11427		11365			
膨張比 γ_e %	0.064		0.064		0.040			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.078		2.094		2.072			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.879		1.896		1.882			
平均含水比 ω' %	10.6		10.4		10.1			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 15日

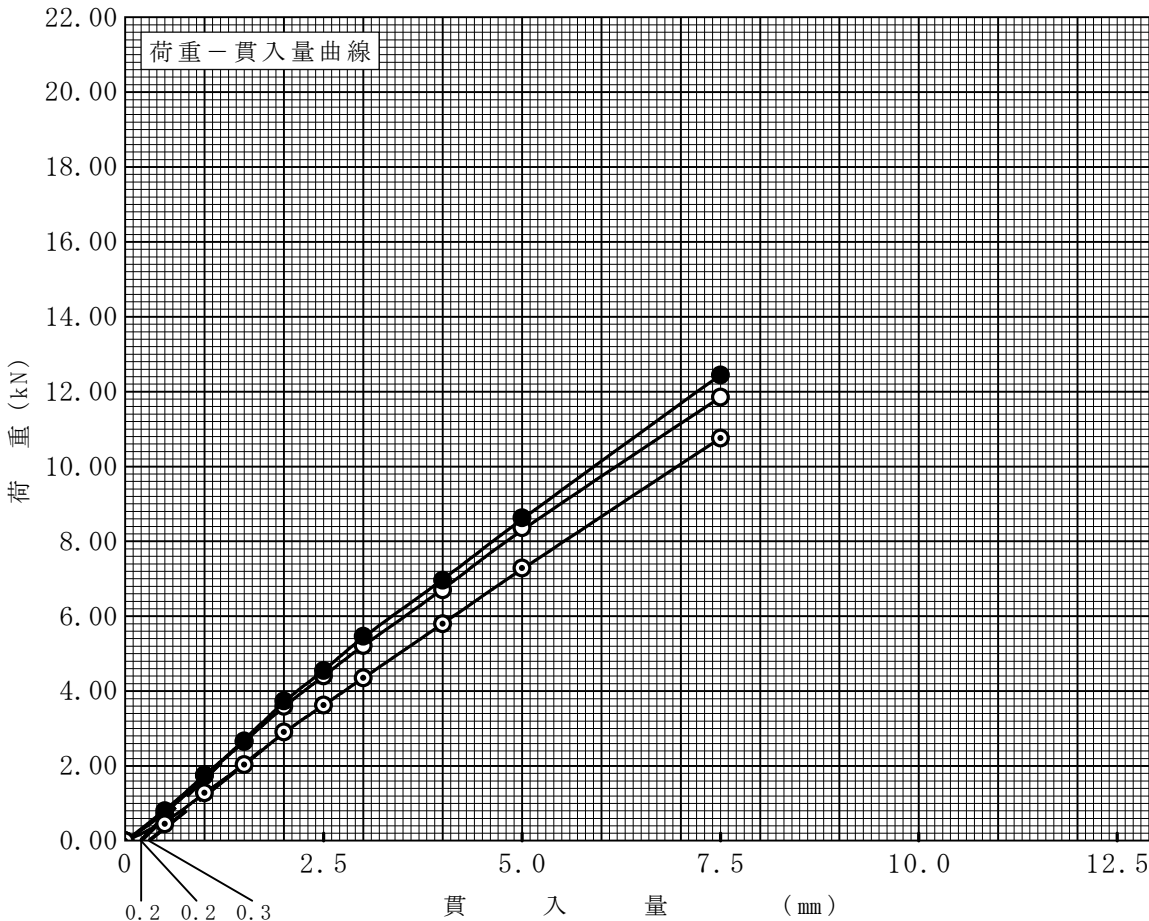
試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試 験 者 金 田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 ω_n	%
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm		

供 試 体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1	5.2	5.2	5.2
		乾燥密度 ρ_d	1.880	1.897	1.883
	後	膨張比 γ_e	0.064	0.064	0.040
		平均含水比 ω'	10.6	10.4	10.1
		乾燥密度 ρ'_d	1.879	1.896	1.882
貫入試験	試験後の含水比 ω_2				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		35.3	36.7	30.3
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		43.1	44.7	38.6
	C B R %		43.1	44.7	38.6

平均 C B R %
42.1



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 1 供試体 No.	4.731	8.586
荷 2 供試体 No.	4.914	8.903
荷 3 供試体 No.	4.059	7.680
標準荷重 kN	13.4	19.9

修正 C B R 試 験

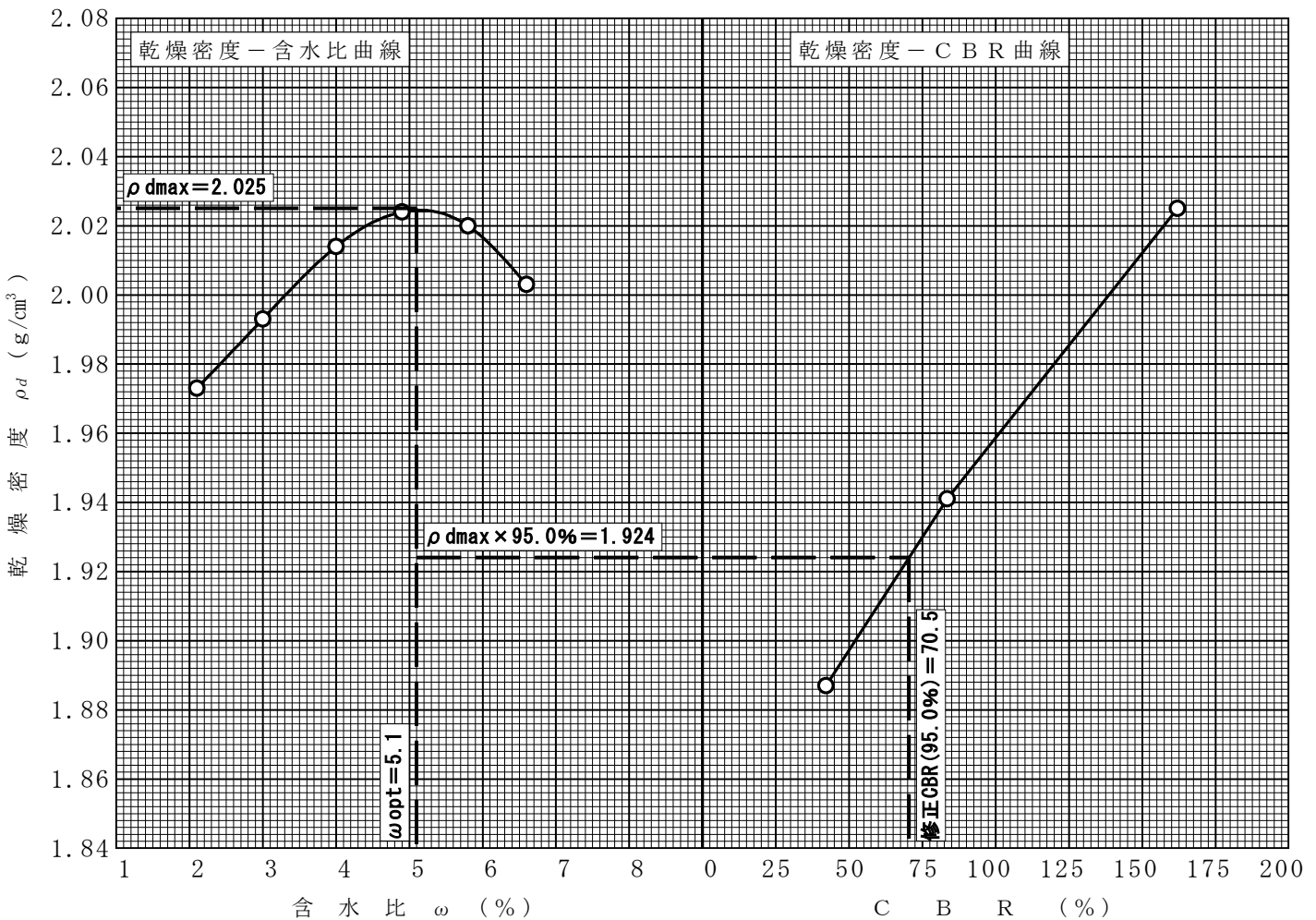
調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 18日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)川砕

試 験 者 金 田 透

供 試 体 No.	92-1, 2, 3			42-1, 2, 3			17-1, 2, 3		
突 固 め 回 数 回/層	92 (3層)			42 (3層)			17 (3層)		
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³	2.020	2.021	2.035	1.931	1.940	1.953	1.880	1.897	1.883
平 均 値 ρ_d g/cm ³	2.025			1.941			1.887		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	152.1	142.1	142.2	70.7	69.2	57.8	35.3	36.7	30.3
平 均 値 %	145.5			65.9			34.1		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	162.1	159.5	164.3	86.9	88.7	74.8	43.1	44.7	38.6
平 均 値 %	162.0			83.5			42.1		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.025	締 固 め 度 %	95.0				
		最適含水比 ω_{opt} %	5.1	修正 C B R %	70.5				



特記事項